

# 多木化学株式会社

1世紀を超えて蓄積した化学技術で、  
時代のニーズに即した事業を展開します。



 TAKI CHEMICAL CO., LTD.

## 会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 多木 隆元
- 本社所在地 ● 加古川市
- 事業内容 ● アグリ事業、化学品事業、不動産事業
- 従業員数 ● 471名 うち障害者数12名  
(身体障害者11名、精神障害者1名)
- ホームページ ● <https://www.takichem.co.jp/>

## 障害者雇用について人事担当者にインタビュー



インタビューに答える  
総務人事部次長の大橋 正さん

### 障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

当社は明治18年の創業から今年で134年目になり、加古川市の皆様と共に発展してまいりました。障害者雇用にも早くから取り組んでおり、私が入社した昭和60年頃には、障害者の方が職場で働いていました。

### 採用はどのように？

ハローワークからの紹介がほとんどになります。採用前のトライアル雇用などはしていませんが、ハローワークの担当者の方とよく話し合い、ご紹介いただいた方と面談する中で、ご本人の障害の状況をお聞かせいただき、採用となった場合、業務などを決定させていただいています。当社は事務所にしている建物が古く、また、工場もまだ全ての方に働きやすい

職場とは言えない部分があります。こうした部分は面談で正直に話し、ミスマッチが起こらないように注意しています。

身体障害者の方が多いですが、2018年に初めて精神障害者の方も採用しました。

### 採用された方はどのような職種に就かれていますか？

ほとんどの方は本社工場に勤務しています。工場出入門でのトラックや搬出入車の受付対応、事務職、製品の検査業務など、障害に応じていろいろな部署で活躍していただいています。中には工場の製造ラインに入っている方もいます。



インタビューに答える  
総務人事部課長代理の神里 寿雄さん

### 障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

他の会社の皆様が思われるほど、「障害者を雇用すること」自体は難しいとは思いませんでした。ハローワークの方から様々な情報をいただき、私たちも障害者雇用について学んでいましたので、迎え入れる準備や心構えはできていました。現場の社員たちも、足の不自由な障害者の送り迎えを自主的にしてくれるなど、前向きに取り組んでいます。

当社にとって難しいのは「障害者の方に快適に働いてもらえる職場または仕事をつくる」という部分です。当社で働く障害者の方のほとんどが50歳以上となっているため、今後、障害者雇用の割合を増やしていくうえでどのような仕事をしていただくか、検討する必要があります。例えば、障害のある方でも取り組みやすい、敷地内の清掃業務などがあると思いますが、すでに当社では、長年お世話になっている取引先に依頼しています。誰かから仕事を取り上げるのではなく、柔軟な発想で障害のある方と一緒に、新しい仕事を生み出していかなければなりません。

### 雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

まずは障害を持ちながら働いている方々の状況、困っていることがないかを知ることが必要だと感じました。当社の社員は全社的に、自分の意見や要望を会社に伝えることを控える傾向にあります。長く勤めるなかで、改まって相談することに抵抗があったかもしれません。

そこで、平成28年に「障害者の雇用の促進等に関する法律」(\*)が一部改正されたタイミングで、障害者の方と個別の面談、聞き取りを行い、改善すべき点を把握しました。

いくつか具体的な例をあげると、足が不自由な方の場合には工場敷地内を一部自家用車で移動することの許可、医療器具を常時携帯する必要がある方には器具の装着に支障が出ないよう作業着の改良、工場内のお手洗いを和式から洋式に改装といった対応を取りました。今年も

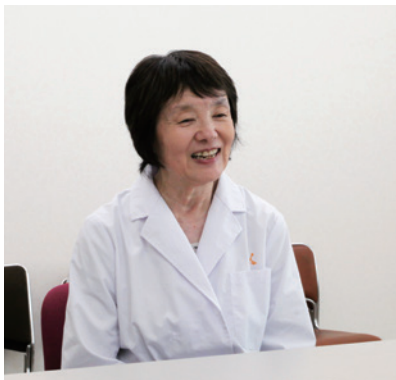
再度面談、聞き取りを行い、障害の状況を共有しました。声があがってくるのを待つのではなく、こちらから話しやすい雰囲気を作っていくことも重要だと思います。

### 最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

障害者雇用について、自分たちだけで考えていてはなかなか前に進めない部分もあります。当社ではハローワークの皆様によくお力添えいただきますが、各種支援機関や社会福祉法人、または先行して障害者雇用に取り組んでおられる企業の例を参考にして、障害者雇用に取り組んでください。

(※)平成28年4月1日の改正により、雇用の分野で障害に対する差別が禁止され、合理的配慮の提供が義務化された。

## 勤務されている方へのインタビュー



インタビューを受ける八木さん

### いつからこの会社に勤めていますか？

障害者の認定を受けてからおよそ10年、今の職場で働いています。

### どのような仕事に従事されていますか？

以前は研究職をしていましたが、現在は研究所の知財管理グループに所属し、庶務全般を担当しています。具体的には講習会の手配、入出金の管理といった業務になります。

### この会社に勤めて良かったと思う事は？

障害者認定を受けた後も、同じ職場で働くことができたのはよかったです。元々は研究員として勤めていましたが、今は、薬品や火気を扱うことがない業務を任せてもらうなど、仕事内容にも配慮してもらっています。

### 今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

昨年私は、「シニア社員」として再雇用していただきました。これまでと仕事内容は大きく変わりませんが、65歳まで元気に仕事を続けていきたいと思っています。